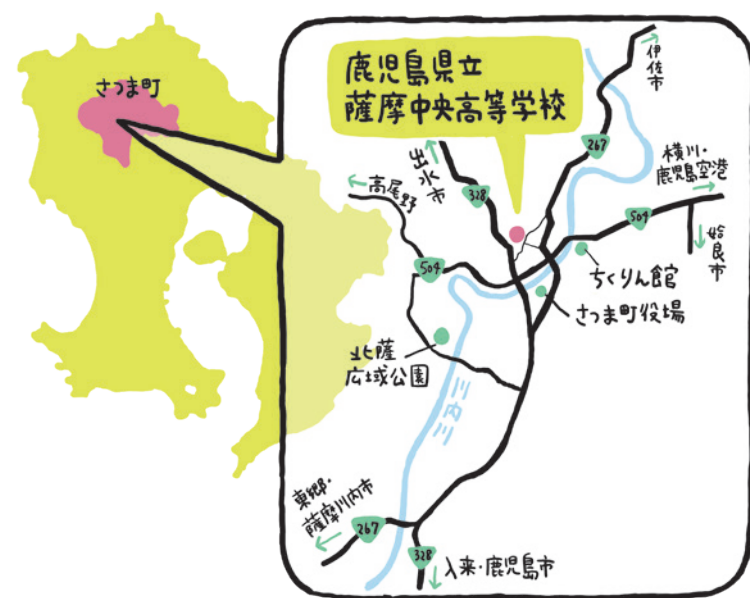




[交通のご案内]

● 通学バス（スクールバス）

鹿児島交通 : 川内方面、永野・祁答院方面
 南国バス : 大口・薩摩・鶴田方面
 JR九州バス : 入来・山崎方面

● 空港・新幹線からのアクセス

鹿児島空港 : 車でおよそ 40 分
 新幹線(川内駅) : 車でおよそ 30 分



鹿児島県立 薩摩中央高等学校

〒895-1811 鹿児島県薩摩郡さつま町虎居 1900 番地
 TEL : 0996-53-1207
 Mail : sachuo-sh@edu.pref.kagoshima.jp

[webサイト]



[ブログ]



夢が見つかる、
 できるが増える

Satsuma Chuo High School

鹿児島県立
 薩摩中央高等学校



スクールミッション 目指すべき学校像

さつま町にある普通科、農業に関する学科、福祉科を有する高校として、豊かな人間性を育み、生徒一人一人の能力や個性、可能性を伸長させる取組を通して、新しい価値を創造し、地域を支えるために必要となる能力を育成する学校を目指します。



育てたい生徒像 自律 創造 共生

学校内外のあらゆる資産を活用し、自ら主体的に課題解決しようと、仲間や地域と協働して、改善に取り組む探究心旺盛な人物を育てます。

学校経営方針 人づくり、 ものづくり、 夢の実現 100%

- これまでの伝統を継承し、新たな伝統を創っていく自覚と誇りをもたせる教育を目指します。
- 学校、家庭、地域社会が連携して求められる社会人として、必要な基本的生活習慣を確立させる教育を実践します。
- 生徒一人一人の能力や個性・適性に応じた教育に取り組み、一人一人の能力・可能性を伸長させ、進路実現を図る教育に取り組みます。
- 様々な個性をもつ生徒相互の出会いによる、豊かな人間性と社会性の醸成を図る教育を目指します。
- 地域への課題意識を持ち、地域ならではの新しい価値を創造し、地域を支えるために必要となる力を育成する教育を実践します。

教育の基本方針 カリキュラム・ポリシー

基礎学力の定着と幅広い知識と教養を身に付け、内発的な学びの動機付けや、自己理解の推進、将来のキャリアを展望する基盤の形成を促し、個性や資質・能力に応じた多様な将来の進路を実現できるように教育課程を編成し実施する。



自然豊かで広大な敷地

当校があるのは歴史的な文化遺産が多く残る、鹿児島県薩摩郡さつま町。周囲には紫尾山や川内川、たくさんの温泉があり、とても自然豊かな環境です。広大な敷地には農場や牛舎、梨園、草花や野菜などを栽培するハウスもあります。



専門科目に適した充実の設備環境

普通科以外にも専門学科の生物生産科や農業工学科、福祉科があり、各科目の学習に合わせた設備環境が整っています。機械加工室や農産加工室、介護実習室などの専門教室があるほか、必要な機械や用具もきちんと準備されており、より実践的な学びが得られます。



普通科

少人数指導・個別指導を基本とし、総合選択制を活かした幅広い学習を実現。ニーズに合わせた資格取得や進学・就職のサポートも充実しています。



生物生産科

牛の飼育や、園芸や果樹、野菜の栽培などを中心に、生命に関わる学習をします。また、「牛の競り市」への参加や果物などの販売も行います。



資格取得のための手厚いサポート

幅広く学習できる環境で総合選択制を生かし、興味や関心に応じて専門分野の資格取得を目指すことができます。合格に向けて先生が放課後に個別授業を行うなどのサポートも行っています。国家資格をはじめ、卒業までに10種以上の資格を取得する生徒もいます。



農業工学科

旋盤実習やドローンの操作、豚味噌やジャム、パンの製造などを行っています。取得可能な資格も多数あります。



福祉科

講義や演習だけでなく、介護実習など、実践的な学びも得られます。国家資格である介護福祉士国家試験は全国平均以上の高い合格率を誇ります。

タブレット端末やドローンなどICTを導入

タブレット端末を活用した学習やドローンの飛行実習など、最新のICTを導入・活用。レポート作成や発表スライド作成など、個別の学習にも対応しています。ドローンについては専門家による講習会も開催され、きちんと使い方を教わってから学びに活かします。



総合選択制

2・3年次にそれぞれの生徒の興味関心や進路希望に応じて、他学科の科目を選択して学習できる総合選択制を採用しています。希望する生徒には、選択科目の資格取得のサポートも行います。



地域高 2 留学

高校2年生の1年間、全国から他校の生徒を受け入れる「地域高2留学」の地域留学先高校となっています。「地域高2留学」とは、行きたい地域を選んで学ぶ国内留学制度です。新しい土地だからこそ得られる、かけがえのない時間、高校生の今しかできない体験を提供しています。留学生は紫雲寮で生活しながら、他の生徒と同様に当校にて学習します。

留学生の声

第3期留学生 さとう のん 佐藤 暖さん

— 地域高2留学にチャレンジしようと思った理由は何ですか？

これまでと全く違う環境で生活し、そこでしかできない体験や挑戦をして、自分を変えるきっかけ、自立心を育みたいと考えました。



— 留学してみて、自分の中で起きた変化と今後の目標を教えてください。

行動力が高まり、何事にも挑戦しようと思えるようになりました。今後の目標は、地元でも社会貢献できるような活動をしていきたいです。



— 薩摩中央高校を選んだ理由を教えてください。

少人数・個別指導を基本としていることから、生徒一人ひとりに手厚いサポートをしてくださると思いました。また、探究活動「ちくりん学」があり、地域の方々との交流が多いと考えました。

— 学校生活の中で特に思い出に残っていることは何ですか？

友達との日常会話です。特に文化祭の準備など、みんなで協力しながら切り絵やアクリル絵の具の作品づくりができたことが思い出に残っています。

— 地域留学を経験してどのようなことを感じ、どのような学びがありましたか？

地域の温かさを感じることができました。将来したいこと、また、趣味を見つけることができました。そして、地元埼玉のことをもっと知ろうと思いました。



— 薩摩中央高校はどんな学校でしたか？

みんな優しく接してくれて、今では冗談などを言い合える仲になりました。また、先生方との距離が近くて何でも話すことができ、とても過ごしやすい学校でした。

体育系の部活動・同好会



全国大会や九州大会に出場するチームもあります。
野球・剣道・バドミントン・ダンス・バスケットボール・バレーボール・ウエイトリフティング・ラグビー・テニス・卓球・サッカー



文化系の部活動・同好会

幅広いジャンルが揃っています。
機械工作・吹奏楽・書道・演劇・放送・園芸・美術・写真・調理・イラスト・ボランティア



部活動・同好会の活動実績(令和5年度)

〈ウエイトリフティング部〉

県高校総体	団体女子優勝・男子準優勝・個人優勝6名
九州高校総体	6名出場 うち2名入賞：第3位・第4位
全国高校総体	4名出場 うち2名入賞：第4位・第5位
国民体育大会	2名出場
県高校新人大会	団体女子優勝・男子準優勝・個人優勝3名
九州選抜大会	4名出場 うち1名入賞：第3位

〈男子バドミントン部〉

北薩地区春季大会	団体 第2位
北薩地区春季大会	1年生シングルス 第2位

〈テニス部〉

北薩地区秋季大会	シングルスBパート 優勝
----------	--------------

〈女子バレーボール部〉

北薩地区秋季大会	優勝
----------	----

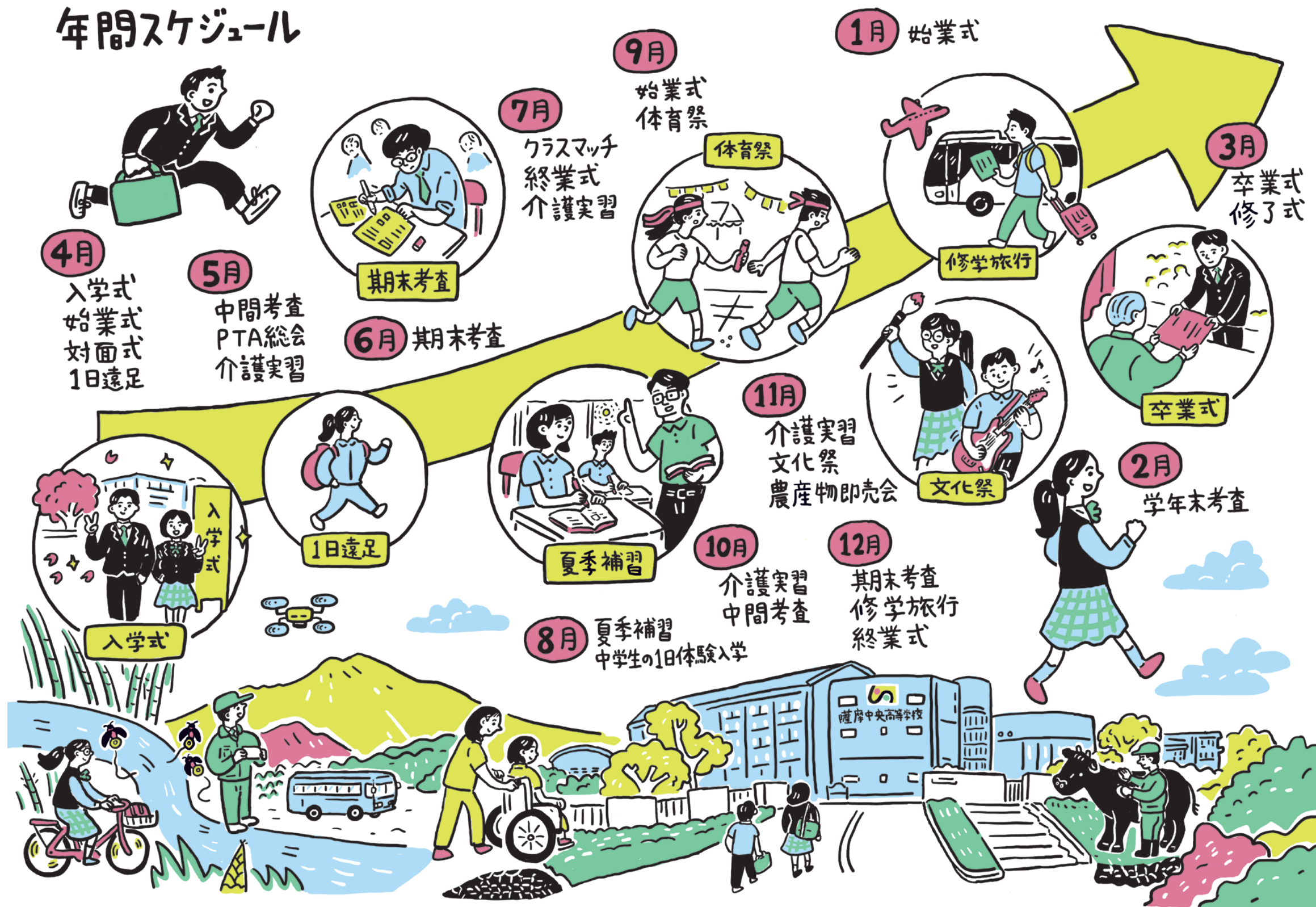
〈書道部〉

県高校書道展	秀作賞
地区高校揮毫大会	奨励賞

〈写真同好会〉

県高校写真展	入選2名
--------	------

年間スケジュール



制服の紹介

ネイビーとブルーを基調とした制服。ネクタイ、リボン、スラックスやスカートなど自由に選択して着用することができます。さわやかな印象で生徒からも好評です。



寮生活の紹介

遠方から入学した生徒や留学生が暮らすのは、学校から徒歩3分の「紫雲寮」。個室と共有スペースがあり、プライバシーを守りつつ寮生との交流も楽しむことができます。手づくりの食事はボリューム満点で寮生からも大好評！

部屋タイプ	家賃・光熱費	通学手段	通学時間
個室 ※入居者数によって変更の可能性あり	50,000 円 / 月 ※食事：平日、土日祝の朝夕付	徒歩	3 分





地域連携

当校は地域に唯一の高校であるため、自治体や地元企業との関わりが深く、地域全体が学びのフィールドになっているのも特長のひとつ。例えば、牛の飼育や園芸、果樹の栽培・販売、福祉介護体験、金属加工製作、食品加工品の企画・商品化など、多様性のある魅力的な活動は、地域の方々と連携を図りながら実施します。



ちくりん学

普通科の総合的な探究の時間「ちくりん学」では、地域のことを学びます。地域課題解決に向け、住民の方に話を聞いたり、農家とのタイアップを考えたりするなど、様々なテーマを生徒たちが決め、進めていきます。総探活動発表会では、探究活動の集大成として校内外から多くの方をお招きして研究の成果や課題について発表します。



パートナーシップ協定

創立20周年を迎えることを契機に、さつま町と当校相互の繁栄と地域社会の発展への貢献を目指して行われたもので、町は高校生の通学費・寮費の助成や地域留学の支援を行い、高校はコミュニティスクールを導入し、地域の声を学校運営に取り込みます。



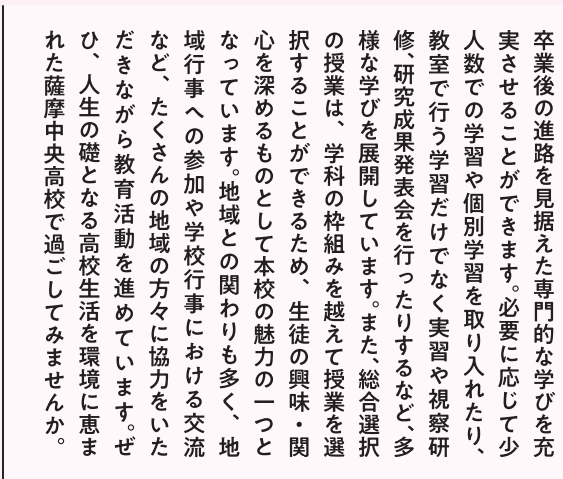
県立高校初の コミュニティ・スクール導入

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。



「学生の声」
普通科1年
田中明里

少人数指導や個別指導など充実した学習環境の中で、日々の授業や資格取得、全国模試対策など、日々の学習に励んでいます。総合的な探究の時間では、自分たちの地域について課題を見つけ、解決策を考える探究活動に取り組んでいます。所属している女子バレーボール部では、日本一を目標にして、毎日の練習に取り組んでいます。親元を離れての寮生活は、初めは不安もありましたが、友達や先輩方がいつも一緒なので、毎日が楽しく、安心して過ごすことのできる素敵な生活の場になっています。これからも、たくさんの方々に応援していただけるように、充実した高校生活を過ごしていきたいです。



「先生の声」
数学科
末永耕大

4つの特色ある学科において、それぞれの卒業後の進路を見据えた専門的な学びを充実させることができます。必要に応じて少人数での学習や個別学習を取り入れたり、教室で行う学習だけでなく実習や視察研修、研究成果発表会を行ったりするなど、多様な学びを展開しています。また、総合選択の授業は、学科の枠組みを越えて授業を選択することができるとして、生徒の興味・関心を深めるものとして本校の魅力の一つとなっています。地域との関わりも多く、地域行事への参加や学校行事における交流など、たくさんの方々と協力をして、だきながら教育活動を進めています。ぜひ、人生の礎となる高校生活を環境に恵まれた薩摩中央高校で過ごしてみませんか。

進路情報

令和5年度は進学が37%、就職が63%。進学先は鹿児島国際大学、鹿児島純心大学、神村学園専修学校など。毎年、地域の企業はもちろん県内外の企業への就職があります。

	大学(4年制)	短期大学	専門学校	就職
令和3年度 卒業生(48名)	5名	2名	17名	24名
令和4年度 卒業生(41名)	5名	2名	12名	22名
令和5年度 卒業生(49名)	6名	0名	12名	31名

教育支援制度

国や鹿児島県、さつま町の教育支援制度が利用可能。授業料と相殺できる高等学校等就学支援金や就学のための給付金、通学費・寮費の補助などがあります。

国・県からの支援 (所得条件等あり)	高等学校等就学支援金	奨学のための給付金					
	月額	年額					
さつま町 からの支援 (令和5年度実績)	授業料分	32,300円 ～143,700円		バス通学費補助	寮費等補助	資格取得補助	模擬試験受験料補助
	年額	年額		年額上限	月額	検定ごと	年額
	定期券購入費の 1/3以内 ※上限:35,000円/年	10,000円 ～20,000円 ※4km以上に限る		22,000円 (バス通学の部活動生、 ほか諸条件あり)	10,000円	取得に係る費用の 1/2以内	受験料合計額のうち 5,000円を超える額